



松島トモ子氏



上野山泰生 IM実行委員長

恵比寿RC直前会長

松島トモ子氏特別講演

第2部 (パネルディスカッション)
「我がクラブが考えるCLP(クラブ

正午からの本会議インターシテイ・ミーティング(ロータリーを語ろう)は第1部ホストクラブの嶋田崇有田ロータリークラブ会長の点鐘で開始。ロータリー歴29年の上野山泰生IM実行委員長(有田RC)が「職業、年令、価値観が異なる中で結ばれた私たち。わたしはロータリーの良さを、すばらしさを確認している。IMを機にロータリーの理念を考え、確認したい。ロータリーに自信を持とう」とアイサツを行った。

御地区・三軒久義ガバナー(河内長野RC)は「初のロータリーカレッジ、IM開催、私たちのアイドル、松島トモ子さんの特別講演など活気的な企画」と有田RCを讃えた。水田博史セネラルリーダー(岸和田東RC)からもアイサツがあった。

活性化のための運営改革について」をテーマにコーディネーター・平尾章(有田RC)が司会を務めた。特別発言者・成川守彦(有田RC)は「有田RC」の9クラブ代表のパネリストで活発にそれぞれ意見を述べた。

ディスカッションの内容はクラブ活性化のために国際ロータリーが打ち出した現行の約18委員会を5委員会(①クラブ管理②広報③会員増強、退会防止④奉仕プロジェクト⑤ロータリー

有田でインターシテイ ミーティング

クラブ活性化のための運営改革 活発にパネルディスカッション

▽国際ロータリー第2640地区IM(インターシテイ・ミーティング)2組が2月3日、有田市文化福祉センター(有田市箕島)で海南、御坊までの9ロータリークラブ20人が参加して開催。

2/3



満パイの会場

5委員会へ集約すると「四大奉仕」の理念が損なわれると会員の間から危機論が出ての反対だった。

第3部 (松島トモ子・東京恵比寿RC直前会長の特別講演)
RC会長当時にとりあげた事業を列挙。クラブが楽しいことが大切。卓話を楽しく、女性会員を入会させること...などアドバイス。

ライオンとの出合いや障害者との出合いから車椅子ダンスで優勝したこと。シベリアで戦死した父。45年たつてシベリア鉄道に乗って父親探しの旅を母と一緒にして出会った人たちの思い出の数々...。2月3日、86才の誕生日。元気でクルマの運転をしている母。母が再婚しなかったのは父が絶対生きて帰ってくるから待っていてくれ...。あんなすばらしい愛の言葉をいつくれたからだぞうです」と父と母の愛の深さを語った。

会場は松島さんの戦中、戦後の体験談に胸が熱くなり涙にむせぶ人が多かった。